

2020 年度大会の開催方式の変更のお知らせ

2020 年度の大会は、甲南大学を会場として 11 月 7 日、8 日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの流行はまだ終息せず、今秋・冬には感染の再拡大も予想されます。そこで 6 月 13 日の拡大総務委員会にて検討した結果、会場校での開催をひとまず断念し、開催方式を Web 上、オンラインでの開催に変更することを決定いたしました。ただし開催日は予定どおりとし、会場校にご協力いただきながら、準備・運営を進めます。

この状況下、様々な学会が中止となり、特に若手研究者や留学生の業績発表の機会が少なくなっています。発表の機会を確保するという本学会の方針に鑑みれば、中止という選択肢はとれません。しかし、会場校に集まって行う方式ですと、情勢が不透明な中で準備を進めるのは難しく、大会の直前や当日に急遽中止になるというリスクもあります。開催方式の変更によって参加が不便になる会員の方々もおられることは承知していますが、さまざまな角度から検討した結果、オンライン開催という方針で準備を進めるのが望ましいという結論に至りました。

開催までにはまだ期間がありますが、発表の申し込みや開催準備の手順を考え、この時期に方針を決定したしだいです。5 月 14 日に文部科学省が発表した「感染拡大の予防 と研究活動の両立に向けたガイドライン」で、学会大会のオンライン開催が要請されていることも参考にしました。

オンライン開催の具体的な方法等については、さまざまな事例を参考にしながら検討を進めているところです。詳細は 7 月発行の夏季ニュースレターと学会ウェブサイト上にてお知らせしますので、そちらをご参照ください。

2020 年 6 月 15 日
日本思想史学会 会長 荘部直
大会委員長 大川真